

シラバス例

岩田美喜（宮城県仙台市）

開講科目：比較文化論

授業題目：英語を通じて日本を知る

到達目標：1) 600～700 語程度の英文を一気に正確に読む読解力を涵養する

2) 英語で書かれた日本についてのエッセイを読むことで、複眼的なものの見方を涵養する

3) 日本の文化について、自ら英語で発信する能力を涵養する。

授業内容：

この授業では、様々な専門分野の日本人大学英語教員が自分の故郷と英語との関わりについて記したエッセイを読み、異文化的な視点を通して日本の文化を見るという複眼的な視点を涵養し、またそれを自ら英語で発信することを目的とする。

授業計画：

この授業では毎回、教科書の読解テストと、教員が作成したワークシートを併用する。まず、最初の 10 分は、前回授業のフィードバック（初回はイントロダクション）。次の 10 分で、学生はその回に学ぶ都道府県について自分が知っていることを日本語でワークシートに記入する。次の 10 分で、予習（自習）での知識で教科書の読解テストを解く。次の 30 分では、教員による本文の説明を聞きながら、読解テストの点数をつけ、その点数をワークシートに記入する。次の 5 分では、教科書を通じて初めて知った日本の文化・歴史に関する事項やその英語表現などをワークシートに抜き出す。最後の 25 分では、これまでワークシートに記入してきた事項を自分なりにまとめ、最後に英語でその週に扱った都道府県をずばりひとことで表現するセンテンスを英語で考え、ワークシートに記入。最後に、ワークシートを教員に提出して終了。

第 1 回：福井県

第 2 回：東京都

第 3 回：福岡

第 4 回：兵庫

第 5 回：宮城

第 6 回：京都

第 7 回：長崎

第 8 回：富山

第 9 回：広島

第 10 回：北海道

第 11 回：栃木

第 12 回：大阪

第 13 回：愛知

第 14 回：福島

第 15 回：沖縄

授業評価：出席（30%）、教科書を用いた読解テストの点数（30%）、毎回提出してもらう

ワークシート (40%)